

素敵な人
みつけた!

みよしきらっと★インタビュー

『自分らしいスタイルで仕事を続けたい!』

★ 行政書士 塩野智恵さん

町内で身近な法律家として行政書士事務所を開業し、現在、三芳町男女共同参画推進会議の一番の若手であり仕事に地域活動にと活躍する塩野智恵さんをご紹介します。

1) この仕事を選んだ理由

子どもの頃から、女性が結婚や出産を機に職場を離れてしまうのを見て、自分は会社に所属するのではなく、いつかは独立して仕事をしたいと考えていた。学生時に「行政書士」の資格を取得してあったこと、少予算で自宅での開業が可能なのに魅力を感じて。

2) 行政書士になって良かったこと、苦労したこと

時間の使い方が自由で制約がなく、日々充実して過ごせることや経営の第一線で活躍する人から直接お話を伺えることが良かった。苦労といえば、「行政書士」と名乗っても、どんな仕事をするのか理解してもらいにくいこと。

3) 仕事に就いて感じたこと

開業した当初は周りから「女性が一人でやっていけるの?」と言われることもあった。与えられた仕事を真剣に取り組んでいくうちに、認めて頂けるようになってきた。仕事をしていて、男社会であることも時々感じる。だからこそ、女性ならではの視点も必要だと思う。私自身、自立した仕事を持ち、それによって行動に責任が持て、自分らしさもでてくると思っている。今年で行政書士に登録して6年目。今後も自分のできる事の範囲をどんどんひろげていきたい。



行政書士=役所(官公署)に提出する書類その他の権利義務・事実証明に関する書類の作成や提出の手続を代わって行う等の国家資格者。



☆インタビューアの感想

仕事と家庭生活との両立は困難が伴い、多様なライフスタイルが選択できる社会には、まだまだ時間がかかりそう。塩野さんは、そんな厳しい環境を切り開いていく力強さを感じる女性。これからの活躍がますます楽しみです。

(インタビューア: 静岡浩美)

お便りコーナー

アンケートに参加し、自分の置かれた環境を改めて見直してみた。私の職場は、男女が互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず個性や能力を発揮できているのか?男性は男性・女性は女性と区切って仕事をしていないか?など…。私の職場は職場内だけでは成り立たず、周りの人々の協力で運営している。組織のトップは男性!ということはなく、内容によっては女性もトップになっている。お客様に快く利用してもらうために、男性の声も女性の声も反映していく必要があると思う。(竹間沢在住 Mさん)

ご意見・ご感想をお待ちしています。

〒354-8555 三芳町大字藤久保1100-1
三芳町企画財政課 政策推進係「まなざし・お便りコーナー」宛
FAX. 049-274-1055E-
mail:manazashi@town.miyoshi.saitama.jp



平成16・17年度

三芳町男女共同参画推進会議委員

岩城桂子 鷗飼登美子 小島千賀子
塩野智恵 静岡浩美 浜砂豊子
前田小津江 向吉孝子 山崎和美

編集後記



* 毎回ステキな表紙のイラストに感謝! 自分らしく輝く社会へいつでもどこでも“まなざし”への声を待ってまーす。(岩城)
* 今感じてできることに楽しくトライ。今回もアンケートへのご協力ありがとうございました。(向吉)

※この情報誌は男女共同参画推進会議が企画・編集しました。

「まなざし」vol.4 2006・3(年一回発行)

発行 三芳町企画財政課政策推進係(内線415)